

保護者用糖尿病情報シート

Diabetes Information Sheet for Parents and Carers

この度は、お子様が1型糖尿病 (type 1 diabetes)と診断された旨の情報をいただき誠にありがとうございます。

学校は教育を行うのみならず、お子さんがのびのびと楽しい学校生活を送ることができ、さらに保護者の皆様には安心してお子さんを学校におまかせいただくことを望んでいます。学校長は保護者の皆様と協力しながら、お子さん個人のヘルスケアプランを作成いたします。状況によっては、学校長は、お子さんに最も適したプランを決めるために関連の学校当局から追加援助を求める場合もあります。お子さんの入学を申請中の場合や、お子さんが既に入学手続を済ませている場合には、手配に若干の遅れが生ずる場合があります。

お子さんの最適な健康管理を行うために学校側は以下のステップを踏みます。

ステップ 1. 個人のヘルスケアプランの作成

ヘルスケアプランには以下が含まれます:

- お子さんの糖尿病の症状の詳細
- お子さんの写真
- 学校でのお子さんの糖尿病管理を支援し、低血糖症もしくは高血糖症のリスクを最小限に抑えるために学校が採用する措置
- 学校職員がお子さんを補助するための準備（例：お子さんの健康管理の補助や適切な特別措置を設けておく等）
- 緊急時の対応プラン
- 緊急事態用の保護者の連絡先および保護者に連絡がつかない場合の予備の連絡先
- 写真およびお子さんの健康管理に必要な情報を学校内であらかじめ合意した場所に保管しておくための手配
- プランの作成にあたり、生徒本人とその保護者には相談が行われます。プラン完成時には、保護者がプランを読んで理解したことを示す署名を行い、学校長も署名します。

お子さんのかかりつけの医師より、糖尿病の症状および適切な投薬方法と緊急処置に関する情報を提供していただく必要があります。

注: 保護者は、生徒が学校の保護・管理下でない時間帯についても考慮し、適切な計画を立てておくことが薦められます。例えば、登下校の間や、始業前のビフォースクールケアや放課後のアフタースクールケアがこれに該当します。

ステップ 2. 処方治療に関する書類と治療薬・器具の提供

お子さんが必要とする治療はいずれも投薬方法が記入された学校長への書面による要請を必要とします。保護者は適切な表示がなされた薬および治療用消耗品（血糖値測定器やインシュリンペン等）を学校側にお持ちいただかなければなりません。

毎日学校で使用できるように保護者はお子さんの糖尿病治療器具をそろえておく必要があります。

お子さんが学校で自己投薬することをご希望の場合は、書面による要請を必要とします。特定の生徒が自己投薬できるか否かを判断するのは学校長の責任です。学校長は本件につき医師の助言を求める場合もあります。

さらに学校側は、自己投薬が安全に行われるようにするために合理的な措置をとらなければならない注意義務を有しています。生徒が幼なかつたり、自己投薬の能力が足りずに大人の補助に依存しがちな場合にはより綿密に監督する必要があります。

生徒が自己投薬を行うことができる場合、処方薬の安全な投薬手順を策定する際に、生徒本人も参加させることで、本人の協力が促されます。例えば、生徒によっては教室で自己投薬を行うことを希望する場合もあります。

さらにお子さんがメディカルアラート（投薬注意）用のブレスレットやネックレスを着用している場合には、その旨を学校側に伝えて下さい。Diabetes Australia-NSW は生徒がこうした製品を着用することを推奨しています。

ステップ 3. かかりつけの医師との連絡

必要に応じてお子さんのかかりつけの医師もしくは糖尿病管理チームの一員と連絡できるように保護者の方々には、ご同意お願い申し上げます。「*医師への連絡についての同意書 (Authorisation to Contact Medical Practitioner)*」をお渡しいたしますので、これにご記入下さい。

電話通訳サービス

さらに詳しい情報をご希望の場合は、学校長までご連絡下さい。

通訳者の補助が必要な場合には電話 131 450 の電話通訳サービスにお電話の上、あなたの母国語の通訳者を依頼して下さい。オペレーターが学校に電話をかけ、通訳者があなたと学校との電話での会話を補助します。このサービスは無料です。

謝辞：本資料は、Diabetes Australia-NSW の援助を得て作成されました。